

第73号



2023.4月



発行 城里町社会福祉協議会 ☎029-288-7013 FAX 029-288-7021 ホームページ <https://www.shirosato-syakyo.com>
編集 広報ボランティアグループ

東日本大震災から12年

あの日と忘れない



門脇小学校の教室の中



旧大川小学校の教室の中

ボランティア連絡協議会では3月8日(水)33名で、追悼と鎮魂の思いで宮城県石巻市方面の視察研修を行いました。

まず74人の児童と10人の教職員が犠牲・行方不明になった大川小学校、また地震・津波・火災の被害にあいながらも、児童、教職員全員が無事であった門脇小学校、そして震災の教訓と復興の姿を未来に伝えていく、「みやぎ東日本大震災津波伝承館」を見学しました。

そこで、私たちが目にしたものは自然の有無を言わせぬ巨大な破壊力と、何物にも屈せず立ち上がろうとする、人間の強靱な底力でした。

石巻市震災遺構門脇小学校

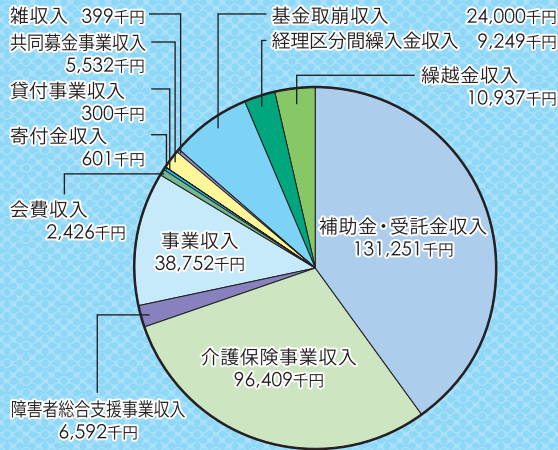
主な内容

- 令和5年度 事業計画・予算 2P
- ボランティアを募集しています 5P
- こころのバリアフリーをひろげよう 5P
- 心配ごと相談のお知らせ 7P

令和5年度 城里町社会福祉協議会予算

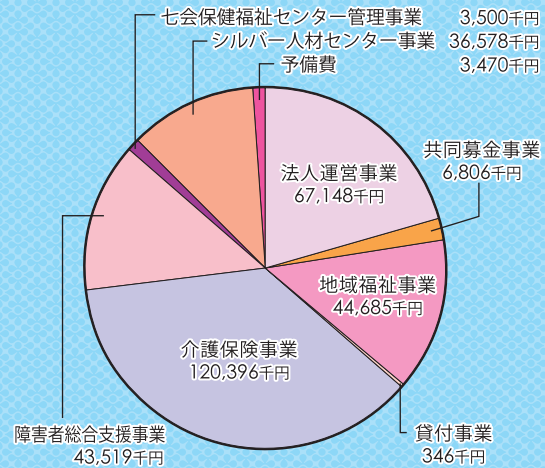
収入の部

収入 3億2,644万8千円



支出の部

支出 3億2,644万8千円



令和5年度 社会福祉法人城里町社会福祉協議会事業計画

1. 善意銀行の運営

- (1) 寝たきりの高齢者への紙オムツ配付(民生委員の協力を得て実施。要申請)
- (2) 訪問理美容サービス事業の実施(理美容所との委託契約により実施。要申請)
- (3) 独居老人(70歳以上)へのふれあい訪問事業を実施(ボランティアの協力を得て実施。要申請)
- (4) 身体障害者補助犬飼育管理費助成事業(1件30,000円)
- (5) 自主防災組織への助成(30,000円×10組織)
- (6) 生活困窮者世帯支援事業(生活困窮世帯に必要な物品等を給付)

2. 心配ごと相談所の開設運営(弁護士が対応。年間24回開所。)

3. 福祉推進事業の展開

- (1) 子どもヘルパー派遣事業(常北・桂・七会地区で実施)
- (2) 子育て援助活動支援事業(ファミリーサポートセンター事業)(幼児、児童の一時預かり事業)
- (3) シルバー人材センターの運営を実施(臨時的かつ短期的なもの又はその他の軽易な仕事を受注)
- (4) 配食サービス事業(ボランティアの協力を得て、在宅で支援の必要な高齢者の方へのお弁当配付)
- (5) 介護予防事業(ボランティアの協力を得てふれあいサロンを開催。自主サロン(42サロン)拡充へ支援を実施)
- (6) 地域活動支援センターの受託運営(通所による障がい者等へ作業訓練及び生活訓練を指導・支援)
- (7) 日中一時支援事業の受託運営(特別支援学校下校後の児童生徒等を対象として生活訓練を指導・支援)
- (8) 小口貸付事業(短期の少額貸付を実施)
- (9) 団体の育成・支援(高齢者クラブ連合会、身体障害者福祉協会、心身障害児(者)父母の会、母子寡婦福祉会、遺族会)

4. 共同募金助成事業

- (1) 広報紙の発行(ボランティアの協力を得て発行)(アドレス <https://www.shirosato-syakyu.com>)
- (2) 育児用品助成事業(赤ちゃんが生まれた家庭に、育児用品の購入助成。要申請)
- (3) 社会福祉大会の開催
- (4) 火災見舞金の支給(居宅の火災に対しての見舞金)
- (5) 生活困窮者フードサポート事業(生活困窮者に対して食料の支援)

5. 生活福祉資金貸付事業(資金の貸付と相談援助を実施)

6. 介護保険事業・介護予防・日常生活支援総合事業

- (1) 訪問・通所介護事業の実施
- (2) 介護予防・生活支援サービス事業(介護予防訪問・通所介護事業実施)

7. 障害者総合支援事業(居宅介護・相談支援事業の実施)

8. 介護保険居宅介護支援事業(ケアプランの作成)

9. 地域ケアシステム事業の推進(在宅ケアチームの組織化、「引きこもり者の居場所づくり」の実施)

10. ボランティア組織の育成強化

- (1) ボランティア活動・普及協力校の活動促進並びにボランティア連絡協議会育成強化・連絡調整

11. 地域福祉の推進

- (1) 住民参加型福祉活動の啓発・啓蒙
 - ① 在宅福祉サービス(家事援助、買物代行、通院介助等)
 - ② 福祉有償移送サービス(城里町・近隣市町村等の病院等への送迎)
- (2) 日常生活自立支援事業(福祉サービスの利用手続きや金銭管理をサポート 要契約)
- (3) ふれあいタクシー事業運営【デマンド交通システム事業】(要予約により、相乗りでの運行)
- (4) 福祉バスの運行(高齢者クラブ事業及び社協事業への活用。要予約)
- (5) 日常生活用具貸与事業(車イス、介護用ベッド等の貸し出し。無料)
- (6) 生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーターの育成及び協議体の設置)

福祉教育推進事業



みなさまから集められた共同募金の一部は、町内の学校の福祉教育のために助成されています。

石塚小学校

補助金により、SDGsに関連した本、障害に関する本を購入し、多くの児童が活用できるようにしました。



常北小学校

花の苗や培養土の一部を助成金で購入し、朝の活動時間に、花壇の花苗植えをしました。パンジー、ピオラ、チューリップを30cm間隔でひもに合わせ植えました。



桂小学校

花壇の育苗用の土を購入し、花壇整備を行いました。縦割り班活動のため、上級生が下級生の面倒を見ながら作業を進めました。



沢山小学校

地域交流事業「昔遊びふれあい集会」で使用するおはじきやビー玉等を購入しました。また、花壇の土やホースを購入し、種から花を育てました。



七会小学校

パンジーの苗や肥料を購入し、花壇整備を行いました。全校児童で植付けをし、たくましく花を咲かせています。



常北中学校

ユニクロが取り組む「届けよう服のチカラ」プロジェクトに参加するため、大型モニターに変換接続するためのアダプターを購入しました。また、花壇の培養土を購入し、土の入れ替えを行ったので、冬場でもきれいな花が咲いていました。



桂中学校

環境教育活動として行っている花壇整備における、腐葉土や肥料、プランターを購入。パンジーの植え付けを行いました。また、竹ぼうきを購入し、校舎内外の清掃ボランティアを行いました。



水戸桜ノ牧高等学校常北校

助成金により、清掃用具を購入し、1年生が学校周辺の清掃ボランティアに取り組み、道路沿いのゴミ拾い、落ち葉掃きを行いました。



まわりのまわりの

「定年後〜現在も ボランティア活動で活躍」

富永 一さん(石塚)

常北地区石塚在住の富永一さんをご紹介します。富永さんは消防署に勤務し、

定年退職後、数多くのボランティア活動に参加し活躍されています。「男塾」では第3期生で、会計と副代表を担当し、「シルバー人材センター」の副理事長などを歴任されています。

更に高齢者への配食サービスでは、既に10年間継続し現在でも古内地区を担当しています。高齢者に弁当を渡した後、少しでも会話をする様に心掛けています。僅か数分間の会話なのです



富永 一さん

が、その時の笑顔を見ますと、言葉にならない喜びを感じます。

シルバー人材センターでも長年活動して来ました。

夏場は草刈り作業や庭木の剪定作業など多くの依頼があり、予定通り消化できない日もある程です。しかし冬場は一気に作業が少なくなり、休業状態となってしまうて困っているとのこと。広報誌で仕事を募集していますが、継続して仕事をを見つけることが難しく、良いアイデアをご教授頂ければ有難いです、と話されていました。

一方、富永さんは**山菜取りが大好き**で、福島県まで出掛けて採って来ます。福島県は山菜の種類、量ともに多くあり楽しいですよ、と話されていました。城里

町から近い所では、常陸大宮市と栃木県との県境の山に行くと、「コシアブラ」を沢山収穫することが出来ます。これを天婦羅にして味わうと最高です。

それから富永さんは、自宅で猫と野ネズミを飼っています。このお話しを聞いたとき、その意味が理解出来ませんでした。それは、自宅に住み着いた野ネズミに餌を与えると、ネズミは「いたずら」をしなくなることです。野ネズミは、腹が減ると家の中で食べ物を探し歩き、それを食べます。その行動は人から見れば「いたずら」となります。この対策として、毎日、餌を僅かに与えておくのです。このため野ネズミを飼っている、と話していました。ご家族は奥様と2人で生活しています。富永さんは穏やかな方のため友達が多く、自宅では得意とするエビラ作りを教えたりして、毎日のようにお客様が来ている、とのことでした。



こんにちは。つくし作業所です。

昨年末に道の駅かつらで行われたH A S H I W A T A S H I、小坂で行われたビヨンドのイベントに参加しました。つくし作業所は、畑で作っている野菜とボランティアの方々がつくってくださいている小物の販売をしました。久しぶりの販売活動でしたが、つくしの仲間は張り切って「いらっしやいませ！」「ありがとうございました！」と元気に挨拶していました。商品がお客様の手元に行く瞬間は私たちにとって大きな喜び、モチベーションへと繋がります。1月は、皆で初詣や書初め、かるたや凧作りなど新



書初めはいつも緊張...

年ならではの活動を行いました。書初めは、今年の干支である「卯」や「健康」「穏やか」など思い思いの文字を書きました。去年の思い出、今年の抱負など、会話をしながら仕上げています。



節分レクリエーション!(豆移し)

2月には、節分のレクリエーションを開催。節分は毎年楽しみにしている季節行事でもあります。事前に鬼のお面を作り、当日はボールを使ったゲームを行いました。みんな負けまいと真剣！しかし、結果に関係なく最後はたくさん笑って楽しい時間を過ごしました。つくし作業所は、毎日笑顔で溢れています。

県央ボラ連研修交流会
講演 JUMPERMANローをひるがらす

茨城県央ボラ連テニア連絡会研修交流会が、小美玉市の四季文化館にて、3月1日(水)に開催されました。会場には県央地区のボラテニア団体等が集合し、城里町からは23名が参加しました。ロビーには各地区の活動を紹介するパネルが展示されていました。

講演は、茨城大学地域総合研究所研究員の有賀絵理先生による「こころのバリアフリーをひるげよう」です。差別や偏見(こころのバリア)を除去(フリー)すれば、みんなが気持ち良く暮らしていただけます。それには、高齢者や障がい者等を理解して、共生していくことが大切です。その為に私たちが、今出来ることは？

一つ目は、災害が起きた時のために、私たちの地域には、どこにどんな人がいて、どんな手助けが必要なのかを事前に知ることです。

また、避難時に高齢者や障がい者の移動は出来るか、段差等のバリアはないか等のチェックも必要です。

二つ目は、コミュニケーション作りです。それには日頃のあいさつが重要です。あいさつを続けることで、会話が出来、相手を理解すれば、孤立化を防げます。

三つ目は、先入観を捨てて、差別をしない事を常に意識する。もし、家族に障がい者がいたらどんな対応が必要かと、自分事として考えてみてください。そのころが、お互いに認め合う・助け合う・支えあう社会になり、こころのバリアフリーがひろがりえます。



有賀絵理先生の、一人ひとりに語りかけるやさしい声は、来場者のこころに届いてました。



あなたの力で、地域が変わる ボランティアを募集しています

ファミリーサポートセンター

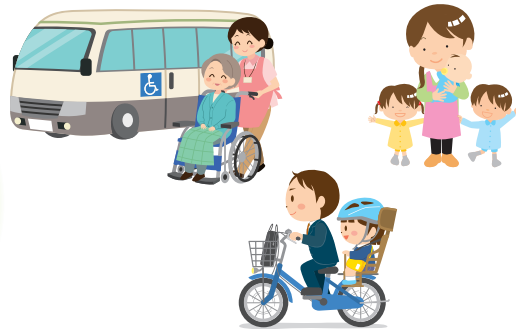
- 子育て応援ボランティアを募集しています。
- ・ 保育所、幼稚園の開始前や終了後のお預かり
 - ・ 冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際のお預かり
 - ・ 買い物等外出時のお預かり
 - ・ 保育施設や学校、学童保育への送迎と保育お子さんとのふれあいは、活力の源です。

福祉有償移送サービス

- 障害者や要介護者等を対象とし、病院や買い物の送迎を行うサービス(有償)です。ボランティアの方は、指定の講習会を受講していただきます。車両は、福祉車両として登録してあるものを使用します。
- ・ 病院の送迎
 - ・ 買い物の送迎など

広報ボランティア

年4回発行の「かざぐるま」の広報ボランティアです。取材をする、文章を書く、写真を撮るなど、1回の発行につき、約4回の編集会議を行います。難しいイメージがありますが、和気あいあいと行っています。文章力が身につきます。取材を通していろいろな方との出会いが待っています。



【お問合わせ】 城里町社会福祉協議会
☎029-288-7013



3月24日(金)午前9時30分より、常北保健福祉センターにおいて、シルバー人材センターで草刈り作業に従事している会員39名が集まり、刈払い機の安全就業研修会が開かれました。講義内容は「安全就業のために」と「グループワーク」で、講師は下古内にあるフオレストアーズリビングの主任講師、岩崎和典氏です。

昨年度は、飛び石によるガラス破損やポンプの配線切断など6件も事故を起こしてしまいました。

「安全就業のために」では、なぜ石が飛ぶのか、石が飛ぶ方向は、飛び石の威力は、それらについてビデオを交え、説明しました。またキックバックの危険性を、過去に発生した事故現場の資料をもとに話されました。



岩崎和典講師の話真剣に聞く会員たち

「グループワーク」ではグループを作り、配られた草刈り作業をしているイラストから、危険な所を見つけ、危険を回避する方法を話し合い、発表をしました。

会員からは、「草刈り作業の前には全員で作業現場に入り、危険な場所はあるか、配線はあるか、足場は滑りやすいかなどを話し合ってから、作業をしています」とや「飛び石が出そうな時は回転数を下げています」など参考になる経験談も出て、会員全員が事故のない安全就業をしようと言う意気込みを感じました。

子育て応援プロジェクト

使わなくなった子ども用品を集めています

数回しか着ていない、1度も着ていないのに着られなくなってしまったなど、お子さんの成長に伴って、使わなくなった洋服等を集めています。集まった洋服等は必要とする子育て世帯にお渡しいたします。子ども用品のリサイクルで、子育て世帯にとってはありがたく、有効活用できます。

集めているもの

- ・子ども服、靴、帽子など(洗濯済みの物)
- ・城里町内のこども園、幼稚園、小学校、中学校の制服・体操服(洗濯済みの物)
- ・紙おむつ(未開封)
- ・未使用の文房具

※社会福祉協議会窓口へお持ちください。



しろさと 66 虫封じの大山寺

高根山大山寺は、宗祖弘法大師、嵯峨天皇の弘仁元年(八一〇)の開創といわれています。本尊は大日如来並びに乾闥婆王尊を安置し、真言宗豊山派に属しています。

特に乾闥婆王尊は、子供の夜泣きに悩まされた親たちを助けるために、弘法大師が大山寺に立ち寄り御真筆なされました。祈願したところ、泣き声がピタリと治まったという伝説があります。

それからは、子どもの守護虫封じとしての民間の信仰が深くなり、15代將軍徳川慶喜も幼時に御祈に御祈と伝えられています。



(故 萩谷正雄氏撮影)

参考文献「桂村郷土史」

手話を学ぶ

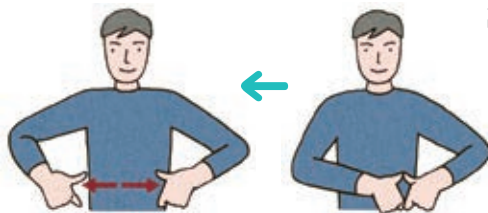
41

いろいろな地名の表し方 ④

美しい花々が咲き、多くの人が花見に出かけられるようになり、青空の下での笑顔には温もりと平穏な日々が戻りつつあります。

「帯広」

両手の親指と人差し指を伸ばしてお腹に当てる。次に両手を左右に引き離す。



「銀座」

手のひらを下に向けて両手を開きながら2回前に出す。



※銀座のガス灯を表す。

「佐渡」

右手を上、左手を下にあぐ。



※佐渡島の形を表す。

「渋谷」(渋い)+(谷)

(渋い) 右手を湾曲させて口の前に持つていき回す。



(谷)

両手を軽く曲げて手のひらを下向きに並べ内側に下げて指の背をつける。



「湘南」

右手で左の人差し指と親指の内側をなぞる。



※「近畿」と同じ表現になる。

「新宿」

両手の人差し指と中指を曲げ手首をひねって前に円を描く。



※山手線の真ん中であることを表す。

「仙台」

右の親指と人差し指をつけて、ひたいの前におき、離してつける。



※伊達政宗のカブトにある三日月を表す。

「天王寺」

右手を首に2回あてる。



※「後悔」と同じ形になる。

(すぐに使える手話辞典6000より引用)



心配ごと相談のお知らせ



相談日には、毎回弁護士が来所し、家庭内等の心配ごとでお悩みの方に、無料で問題解決に向けた法律相談を実施いたします。

相談内容は、秘密厳守となっておりますので、お気軽にご相談ください。

なお、相談件数が多い場合には、当日の相談が受けられない場合があります。事前にご予約のうえ、ご相談内容をお知らせください。

- 開設時間 午前10時から正午まで
- 開設場所 コミュニティセンター城里1階「サークル室」
- 開設日 毎月2回



城里町心配ごと相談 開設日

月	日	月	日
4月	5日(水)・19日(水)	10月	4日(水)・18日(水)
5月	10日(水)・24日(水)	11月	1日(水)・15日(水)
6月	7日(水)・21日(水)	12月	6日(水)・20日(水)
7月	5日(水)・19日(水)	1月	10日(水)・24日(水)
8月	2日(水)・16日(水)	2月	7日(水)・21日(水)
9月	6日(水)・20日(水)	3月	13日(水)・27日(水)

【ご予約・問合せ先】

城里町社会福祉協議会

☎029-288-7013

君嶋 昌枝さん 92歳
御前山

御前山地区に住んでいる君嶋昌枝さんを訪問しました。庭の樹木もきれいに管理されており、剪定など全ての作業を昌枝さんが行っています。

昌枝さんは、現在も近所の農家さんの野菜袋詰め、稲苗の栽培のお手伝いや、隣接する耕作放棄地の除草

作業も自らしています。また赤沢集落センターの清掃を週2回、昭和45年から53年間続けています。

趣味は86歳になる妹さんと楽しくゲームをする事です。

花や植木を育てる事も大好きで、玄関には、今年で3年になるという「シクラメン」の赤い花が咲いていました。

家の後ろには、炊飯設備がある趣味の小屋があり、

わが町のさわやか元気さん 59

福田 利子さん 87歳
徳 蔵

はにかんだ笑顔がとてもチャーミングな福田利子さんは、令和元年に建具職人だったご主人を亡くし、現在は娘さんご夫婦と三人で生活をしています。

シルバリーハビリ体操指導士の資格を持ち活動していましたが、膝が痛くなつてからは、指導を受ける側



になり参加しています。趣味は家庭菜園で畑を耕し、野菜を育てることです。好き嫌いはなく何でも食べ、娘さんが作ってくれる食事は何でも美味しいそうです。

餅つき、蕎麦打ち等を親族が集まり楽しく行っているそうです。

92歳とはとても思えないバイタリティーに溢れ、笑顔絶やさない元気な昌枝さんでした。



自分のことは自分で、怪

我に気を付け日々を送ることを大切にしている利子さんは、現在87歳。7月の誕生日で88歳になります。利子さんにはお子さんが2人、お孫さんが5人、曾孫さんが5人います。利子さんの88歳の誕生日には全員集まり、米寿のお祝いをしてくれる計画があるそうです。

「今からとても楽しみな」とうれしそうに、話をしてくれました。

ボランティア活動保険

社協では、ボランティア活動保険に加入していますので、安心してボランティア活動をしていただけます。

〔ケガの補償〕

- ・清掃ボランティアの活動中、転んでケガをして通院した。
- ・ボランティア活動中に熱中症になり、通院した。 他

〔賠償責任の補償〕

- ・自転車ボランティア活動に向かう途中、他人にケガを負わせた。
- ・家事援助ボランティア中、誤って窓ガラスを割ってしまった。 他

※ご加入には社会福祉協議会へのボランティア登録が必要です。社協で加入しますので、ボランティアの個人負担はありません。事故の内容によっては、補償対象外となる場合があります。ご不明な点は社会福祉協議会へお問い合わせください。

☎029-288-7013

目次

- ボラ連視察研修会……………1
- 予算・計画……………2
- 福祉教育推進事業……………3
- きらっと生きる……………4
- つくしの四季⑥⑥……………5
- 県央ボラ連研修交流会……………5
- ボランティアを募集しています……………6
- シルバー研修会……………6
- 使わなくなった子ども用品を集めています……………6
- しろさと⑥⑥……………7
- 手話を学ぶ④①……………7
- 心配ごと相談……………7
- わが町のさわやか元気さん⑤⑤……………8
- ボランティア活動保険……………8
- 目次・編集後記……………8

編集後記

緑が美しい季節となりました。木々も暖かさを感じて、新しい芽を少しずつ伸ばしながら、生命の息吹を我々に届けてくれています。道端の草達も懸命に可憐な花を咲かせています。そして何処からか聞こえてくるカエルの声。多くの生命体がそれぞれの目的を持って動き出したこの季節。どのような形であれ、皆この時を待っていたようです。